

議会だより

大

磯

「大磯」は吉田茂書

第144号

2008年（平成20年）4月28日発行

3月定例会

- 決まったこと
20年度予算…………… 2～4
総括質疑・議案…………… 5～7
- 町政のここが聞きたい 一般質問 …… 9
- あなたの要望はこうなりました …… 10



ここは何処？
(答えは裏表紙に)

平安時代末期に建立された東寺真言宗の蓮花院の鎮守社として現在に至る。吾妻鏡によれば建久3年（1192年）源頼朝公は御台所安産祈願のために経巻と神馬を奉納したとある。由緒ある神社。

3月定例会

平成20年度予算案の審議を中心とする3月定例会を2月21日から3月17日までの会期で行った。

2件の人事案を含む13案と19年度補正予算及び20年度当初予算の11案の計24案を審議した。

また、陳情1件の審査を行った。

最終日には、議員から提出された決議案の審議も行った。

支援に重点

予算特別委員会

平成20年度予算案は、予算特別委員会を設置して5日間にわたり慎重に審査し、採決の結果、全会計について賛成多数で可決した。採決終了後、三澤委員他1名から付帯決議案の提案があり、採決の結果、全員賛成で可決した。

個人町民税

問 人数と減免の状況は。また、滞納者へのルールは。

答 1万5千201名、減免申請はなし。納期後20日で督促、翌々月に催告状、3〜4カ月で未納の通知をだす。その後、電話で交渉し、分納の計画や滞納処分を行う。

水槽付消防ポンプ車購入

問 なぜ、購入するのか。答 平成5年に寄贈されたものを排ガス（NOX）規制があるため、買い換える。

付帯決議書

平成20年度大磯町一般会計予算のうち火葬料補助金については、明らかに不足するものである。予算編成は、総計予算主義に基づき計上をされるべきであり、当初から補正予算又は予備費対応をする町の考えは認められないものである。今後予算編成に当たっては充分考慮されることを求める。以上、決議する。

富士見地区バス

問 虫窪・黒岩・西久保の生活交通確保対策は。

答 循環バスの試行運行を9月に開始する。15人乗りのワンボックスカーで10時から16時台まで運行する。経路は5循環あり、二宮診療所から国府支所など。料金は無料。

広告料

問 広報運営事務事業にある広告料とは。答 タウンニュースへ町のお知らせを載せるための広告掲載料。

旧藤村邸の周辺整備

問 島崎藤村邸の南側にあり土地の整備内容は。答 入口付近に園路を作り街路灯をつけ、南側に休憩所とトイレを作る。現在、藤村邸にトイレはあるが、午前9時に開き午後4時に閉まるので、常時使用できるトイレを設置する。

通称マリア道の整備

問 国府本郷西小磯1号線整備事業1千600万円の計画と測量と全体の費用は。答 ルート確定しているなかで作業を進め、中心線測量と道路設計委託を考えている。地権者が40名おり、イメージとしては、片側歩道で幅員9.5mとなる。用地買収を含め約4億円かかる予定。

問 路線確定に対して交通

量調査をしたか。全部で4億円か。万台のアクセス道路として整備したいとのことだが、要望はどの程度あったか。農地の調整は。

答 交通量調査はしてい

ないが、国の補助金があるため今年度で行う。4億円は概略。要望は「町民との集い」であった。用地は山林が多い。

ごみ処理広域化

問 ごみ処理広域化に伴うし尿処理施設維持整備事業の改修費の内容は。答 し尿処理施設の機能を維持するため、主要機器の補修及び定期点検。



旧藤村邸



子育て

健康増進事業

問 事業の説明を。
答 老人保健法から特定健診のガン検診・後期高齢者の健康診査などに変わる。保健師・栄養士を雇用し、また、食生活改善・骨太体操などではボランティアの協力をえている。

月京会館

問 地域会館整備は。
答 月京地区の会館で、県の福祉のまちづくり条例により220㎡から255㎡になった。名称は「月京会館」にしたい。

放課後子ども教室

問 内容は。
答 全児童対象の登録制。放課後の児童の安全確保のため、平成20年9月より午後3時から5時まで、週1回行う。

小学校1年35人学級

問 35人学級とは
答 1年生のみ行う。予定されている入学者数は大磯小学校124名、国府小学校103名。

火葬料

問 火葬料補助金の額と上限額は。
答 町長の判断で全額を補助し、上限9万5千円。

問 この予算額では不足すると思う。予算編成のときに予備費を減らしてでもきちんとやるべきではないか。
答 予算の範囲内で納めていきたいが、足りなければ、補正を行う。

小児医療費助成

問 対象者数と所得制限額。また、新たな内容は。
答 対象は1千722名で、資格証発行は1千396名。所得制限を撤廃すると300万円増となる。町単独で、平成20年10月から小学校1年生まで助成を実施する。

介護保険

問 要介護認定者数、要支援者数は。また、給付費が伸びないのはなぜか。
答 要介護認定者936名、要支援者は351名。ケアマネージャーが個々に対応し、アンケートなど実態を踏まえない。

敬老事業

問 敬老祝品、敬老祝金は事業仕分で不用となったが。
答 敬老祝品は8割の方が取りにいられているので残す。敬老祝金は検討する。

後期高齢者医療保険

問 周知体制は。
答 1月に広報へ掲載、2月に全戸配布、3月はテレビなどで周知する。

認知症への対応

問 認知症の割合と進行予防への対応は。
答 介護認定者のうち、3・4割が認知症にあたる。講演会を家族、一般に向けたい意識を高めている。

国民健康保険

問 特定保健指導委託料の内容は。
答 特定健診として40歳から75歳未満の健診が義務づけられた。7千500名に受診券を送付するが、30%ぐらいの受診を見込んでいる。

下水道債の借り換え

問 公債費での民間金融機関借換分の内容と効果は。
答 基準が政府資金であり、平成2・3年の6.7%の公債費が借り換えできることになった。下水道債5件で約3千万円の減額となる。

駅跨線人道橋の塗装

問 金額の内訳は。
答 東部地区のまちづくり交付金を利用し、当初4千500万円であったが、JR東日本が精査して、移動式架設となったため、4千万円となった。



駅跨線橋

平成20年度予算特別委員会

討論

賛成

- 月京会館建設は、地域にとって大変うれしい。
- 公共下水道事業の推進は西部地域が待ち望んでいたこと。
- 子育て支援総合センターは前向きに進めてほしい。
- 富士見地区へのバスは確保できそうなので、ぜひ住民の意見を聞いて進めてほしい。
- 理事者は透明性を確保し、説明責任を十分にし、職員のかんげいを生かすよう努めることを期待する。
- 火葬料補助金は本来計上されるべき予算が出てないが、付帯決議をするので賛成する。
- パートナーシップ邸園事業への意気込みを評価する。
- 農業政策の充実強化を期待する。
- 35人学級編制（小学校1年生）の導入を高く評価する。
- 放課後子ども教室事業は9月開始までの検討に期待する。
- 一般会計から特別会計への繰り出し金は一般会計予算の約19%。この数値への対策は十二分に怠ることのないよう強く要望する。

反対

- 火葬料補助金は総計予算主義の原則に反しているので反対。
- 国府本郷西小磯1号線（マリヤ道）の万台こゆるぎの森入口までの拡幅より穴だらけの道の改善が先き。湘南新道との整合性もない。
- タウンニュースへの広告料は安易な手段を取るため反対。本来、町の政策は広報で周知すべきもの。
- ごみ処理広域化分担金は実施計画など議会軽視で進み、将来町民が不利益を受けるので賛成できない。
- 下水道料金など4月からの値上げによる負担増は低所得者に大きな打撃となるので賛成できない。
- 実質、三好町長の初めての予算だが、生沢プール中止によるプリンスホテルのプール借上料は無料でなく、きちんと払うべき。貸し借りをしてはならない。
- 自主財源確保のためJ Rへ駐輪場経費の応分の負担を求めるべきなのにしていない予算案である。
- 国民健康保険税は大幅な値上げに対し、申請減免の拡充がない予算である。

予算特別委員会

委員長 山口陽一
副委員長 三澤龍夫
委員 坂田よう子

竹内恵美子
浅輪いつ子
清水弘子
鈴木京子
土橋秀雄

予算規模 総額162億1,200万円

●一般会計	80億6,200万円
●特別会計	
国民健康保険事業	33億3,500万円
老人保健	3億7,300万円
後期高齢者医療	5億9,200万円
介護保険事業	19億6,500万円
下水道事業	18億8,500万円

本会議でも賛成多数で可決

議会最終日の3月17日、予算特別委員会の山口委員長が委員会の審査報告を行い、その後6名が討論に参加し、採決の結果、全会計を賛成多数で可決した。

反対討論

・マリヤ道整備費1千600万円、今後4億円必要。1事業者の利益となりかねないので反対。

・子育て支援総合センターのアクセス道路は狭く不便。計画性なく見切り発車だ。

・月京会館建設費8千307万円は全額町の負担。他の会館は地元負担もしている。

賛成討論

・小児医療費を小学1年生まで無料化。妊産婦健診充実などで子育ては大磯町でという予算だ。

・島崎藤村邸南にあづま屋とトイレ整備は良い。

・第四次総合計画に沿った事業がしっかりと遂行されるよう期待する。

施政方針と総括質疑

定例会初日、三好町長より平成20年度予算案が提案された。提案理由に替え、「施政方針」が述べられた。それを受けて、竹内、山田、山口、鈴木、渡辺、柴崎、坂田の7名が総括質疑を行った。

施政方針のあらまし

地方自治体を取り巻く環境は、厳しさを増している。

つまり、地方分権に象徴されるように「自らの地域のことは自らの意志で決定し、その財源・権限と責任も自らが持つ」という、地域主権型社会への転換が求められているからだ。小規模な自治体にとってはたいへん厳しい状況が危惧される。

今後とも、簡素で効率的な機能を持った行政にすべく行政改革を一層推進し、着実に行政運営していきたい。

主な総括質疑

地域主権型社会

問 今後の町の方向性は。
答 これまで以上に財政事情に応じた運営が必要。

予算編成

問 昨年の決算委員会や監査委員からの指摘は。
答 真摯に受け止め、予算に反映させた。

ごみ処理広域化

問 費用分担は適正か。
答 平成16～18年度の処理量割合及び処理人口割合の平均値から算出する。

機構改革

問 機構改革の実施は。
答 機構改革案を議会に示し、意見を聞きながら進めていきたい。

万が一ゆるぎの森

問 利活用はどうか。
答 民活は公約であり、昨年から検討してきた。基本計画に沿う民間事業者の提案で緑地保全をした。整備費は町に負担がかけられないように行いたい。

3月 議案審議

国保の値上げ

平成20年4月から施行される後期高齢者医療保険制度に対応するため、国民健康保険税条例の改正が必要となった。

大きな改正点は、現役世代からの支拂として、後期高齢者支援金等の納付に充てるために、「後期高齢者支援金等課税額」の項目を新たに設ける。その分として実質、所得割が0.9%、均等割が5千円増額となる。

付託された福祉文教常任委員会では賛成多数で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 資産割を近隣市町と比較し、町の考えはどうか。
答 平塚市は資産割をゼロ、二宮町は30%を26%に下げると聞いている。全体的に資産割を下げる傾向にあると思われるが、前回の委員会の意見を参考に今回は、据え置いた。

問 窓口負担が2割の対象範囲を現行の3歳未満から6歳に拡大する。また、70歳以上の被保険者の一部負担金の割合を現行の1割から2割に窓口負担率が変わるが、影響額は。
答 3歳から6歳は170名程度で2千万円増額、70歳以上は約1千300名で5千万円の減額を見込んでいる。

反対討論

後期高齢者医療制度創設は認めるわけにはいかない。大幅な値上げに対し、申請減免が拡充されない。

国の法律を受けなければならぬからこそ、町独自でできることをすべきだ。

賛成討論

大磯町の医療費の伸びは理解しており、値上げをせざるを得ないところまできている。更に町民の理解を頂いてほしい。

国の子育て支援策という面から賛成する。町は合わせて、小児医療費助成制度もしっかりと対応してほしい。

大磯保育園を民営化

平成20年4月1日から2園ある町立保育園のうち1園を社会福祉法人の運営にするため、条例の改正が行われた。

付託された福祉文教常任委員会では賛成多数で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 経費の削減を3千700万円とする根拠は。

答 今まで約1億1千万円の経費が大磯保育園の運営にかかっており、そのほとんどを町が負担していた。民営化により国の補助金が増大し、町の負担額が大幅に低くなるため。

問 大磯保育園は、築40年、西湘バイパスに近く、駐車場の状況も悪いなど、環境が良いとはいいがたい。

答 民営化に際し、新たな場所を探すこともせず、建替をさせない理由を示せ。

問 増改築をしており、まだ耐えられる施設と判断した。

答 大磯幼稚園との併設や駅近くの用地等、新たな場所の模索もしたが、予算も含め適当な場所がなく、政策会議に諮り決めた。

問 特別保育等の経費で、従来の料金と違うところは。

答 一時保育の0歳から6歳までの負担が1時間350円から450円と100円値上げ。昼食代、おやつ代も高くなった。延長保育は、午後7時

からの1時間が新たに追加された。

反対討論

行政改革の一環として、大磯保育園民営化に向けて、平成17年にスタートした。当初、三澤前町長は1年間で行なうと言ったが、結果として、3年かかっている。

民営化に反対ではないが、少子化対策や働く人の自助努力を助けるというには、場所などの問題が多い。安易に前町政を引き継ぐことはない。

賛成討論

民営化により保育サービスの低下を生じさせないよう、大磯保育園民営化運営会議のなかで、議論が繰り返されてきた。

今後、大磯町と移管先法人で交わされた協定書及び合意書が守られていくものと思う。保育サービスが低下しないよう町から働きかけることを期待する。



国府学童保育クラブ

国府小学校内に学童保育施設完成

月京幼稚園の余裕教室と国府小学校の特別室の2カ

所で開催されてきた学童保育を、国府小学校敷地内の新たな施設で実施するために新条例が提出された。

付託された福祉文教常任委員会では賛成多数で可決し、本会議でも採決の結果、賛成多数で可決した。

主な質疑

問 この施設の利用者の範囲として、学童保育の時間外に町内の他の団体に貸せるか。

答 貸し出しはするが、学童保育のためにいろいろなもの置いてあり、基本的には学童の施設と考えている。



民営化された保育園

◆東小磯・大磯地区内の下水道工事契約の締結

「大磯38-4汚水幹線整備工事」が大磯小学校体育館北より西は御嶽神社前を通り山手のポスト近くまで、東は小学校沿いに聖ステパノ学園前まで推進工法でされる。
 工事は村本建設（株）が落札し、費用は1億6,170万円（落札率98.96%）。
 学校、学童保育、体育館の利用者の安全を求めた。

◆職員の昼休み12時15分から13時までとする

公務能率の向上のため人事院規則が施行したことに基づき、12時から13時までの昼休みを12時15分から13時までの休憩時間とし、15時から15時15分までの休憩時間も無くす条例改正をした。
 町民への周知徹底を図るよう要望した。
 本年4月1日より施行される。

◆職員の育児と仕事を両立しやすくする

少子化対策が進められるなか、地方公務員の育児休業などに関する法律が改正され、育児と仕事の両立が一層しやすくなるよう育児のための短時間（1日当たり4時間）勤務などが制度化されたのを受け条例改正をした。
 給料月額は勤務時間に応じた額となる。
 本年4月1日より施行される。

19年度補正予算

▶ 清掃総務運営事務事業	55万5千円の減
▶ 防災行政無線更新事業	2,572万円の減
▶ 鳴立庵施設整備事業	316万円の減
▶ 福祉センター改修事業	220万円の減
▶ 国保特別会計繰出金	3,495万円の増
▶ 介護保険運営事務事業	400万円の増

一般会計と四特別会計の補正予算が提出された。

一般会計は、3,781万2千円を追加し、88億7,895万7千円とした。

採決の結果、5議案とも賛成多数で可決した。

主な質疑

清掃総務運営事務事業

問 ごみ処理広域化実施計画策定負担金、循環型社会形成推進地域計画策定委託料負担金の減の理由は。

答 国の市町村広域行政事業の対象となったため。
 問 平塚大磯ブロックごみ処理広域化分担金の増は、アセス実施計画案、PFI可能性調査のための負担金。

防災行政無線更新事業

問 減の理由と内訳は。

答 入札により、監理委託料が5万円、工事請負費が2千567万円の減となった。

鳴立庵施設整備事業

問 減の理由は。

答 屋根の葺き替えの工事請負費の入札による減。

福祉センター改修事業

問 屋上の給湯温水器の減の理由は。
 答 入札が不調のための実

国保特別会計繰出金

問 増の理由は。

答 医療費等の増のため特定財源を導入し、不足分を一般財源から繰り入れる。

介護保険運営事務事業

問 電子計算システム開発委託料の増の理由は。

答 介護保険が激減緩和措置により1年延長のため。

行残。平成20年度にろ過器と合わせて執行したい。

地方分権が進むなかでの議会改革



1月23日、中央大学法学部教授の今村都南雄先生を講師に招き、研修を行った。
 内容は、中央集権的政治体制のリストラ（地方分権改革）が進むなか、自治体が地域再生に向けて、自らの企画力の向上を通して地域活性化の基盤強化を図ることが迫られている。
 首長からの提案チェックが中心の議会の在り方が問われ、議会主導の「討議による住民・行政等との協働」を進めることが課題であると講演された。
 質疑応答を行い、住民に期待される議会改革を進めていくことが大切であることを全議員で再認識した。

町村議会表彰受賞

大磯町議会が全国町村議会議長会より、地域の振興発展及び住民福祉の向上のため議会の活性化に努められたとして、受賞しました。

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	
		渡辺順子	山口陽一	三澤龍夫	高橋英俊	坂田よう子	竹内恵美子	奥津勝子	浅輪いつ子	清水弘子	柴崎茂	山田喜一	鈴木京子	土橋秀雄		
1	大磯町学童保育クラブ条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	大磯町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	大磯町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	大磯町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 (平成20年の期末手当 町長 ^{50/100} 、副町長 ^{30/100} を減額)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	大磯町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例(前号と同様 教育長 ^{20/100} を減額)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	大磯町保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	大磯町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	大磯町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	大磯町心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(健康保険法の改正に伴い引用字句等の改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	大磯町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例(保険料の激変緩和措置を引き続き行うための改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	固定資産評価審査委員会委員の選任について 及川昭男氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	人権擁護委員の候補者を推薦することについて 後藤恭一氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	平成19年度	一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15		国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16		老人保健特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17		介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18		下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	平成20年度	一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20		国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21		老人保健特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22		後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23		介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24		下水道事業特別会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案第1号	西湘海岸域(こゆるぎの浜)の保全再生に係わる意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決議案第1号	大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成 ●は反対

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は試みとして、全ての通告質問項目を載せることにしました。従来どおりの要約文は、本庁舎・支所のロビーに用意してあります。ホームページでもご覧いただけます。ご希望の方は一報を。

清水弘子 議員

- 1 食の安全性と地産地消の取り組みは、また、学校給食はどうか
- 2 大磯の景観は守れるか
- 3 県道相模原・大磯線から小田厚へのアクセスの新たな計画は進んでいるか

高橋英俊 議員

- 1 万台こゆるぎの森の民活について

山田喜一 議員

- 1 町第四次総合計画（前期06―10年）で「地域資源を活かした活力ある産業振興を図る」と宣言し、その第一に農業を位置づけている町の農業政策の現状と課題は何か
- 2 将来のまちづくりの生命線となる湘南新道（大磯藤沢線）について、「道路計画を推進したい」と12月議会答弁したその後の経過はいかに
- 3 町の玄関に当たる駅前景観整備と一体的に解決すべき、駅前マンション計画への対応はいかに
- 4 機構改革断行による行政・財政改革の徹底と収入増対策はいかに

渡辺順子 議員

- 1 CO2削減の取り組みについて
- 2 まちづくりについて

土橋秀雄 議員

- 1 第四次総合計画における基盤整備事業は計画どおり進んでいるのか

山口陽一 議員

- 1 東海大学大磯病院との協定書について問う
- 2 大磯駅バリアフリー工事の進捗について問う
- 3 大磯町の機構改革について問う
- 4 町職員の心身は健康か、休職中の職員の原因や今後の対策について問う
- 5 町事業仕分けの目的・効果・今後の方向について問う

奥津勝子 議員

- 1 希望ある、町の農業対策は安心出来る地域防災対策は
- 2

三澤龍夫 議員

- 1 なぜ機構改革が19年度に実現できなかったか「大磯を元気に！」とはどのようなことか
- 2

柴崎茂 議員

- 1 町表彰条例に改正の必要はないか
- 2 行政の広域化は必要か
- 3 大磯町教育行政は、町民の期待に込めているか

浅輪いつ子 議員

- 1 まちづくり条例は正しく適用されているか
- 2 ごみ処理広域化実施計画は時代の要請に込えているか

鈴木京子 議員

- 1 大磯保育園の今後について
- 2 機構改革と職員定数について
- 3 住民参加のごみ処理広域化の進め方について
- 4 低額所得者の総合対策について
- 5 住民が主人公のまちづくりを

屋根が新しい

茅葺になった鴨立庵



あなたの要望はこうなりました

採択となった陳情

◆西湘海岸域（小海綾之浜）の保全再生に係わる陳情書

陳情代表者は、加藤孝氏（大磯漁業協同組合代表理事組合長）ほか大磯地曳網漁業者6名。

内容は、昨年台風被害にあった西湘バイパス等の見通しに関係機関の努力ではっきりしてきた。併せて、海岸の渚より沖合い50m以内、海面下水深10m以内の

西湘海岸域（こゆるぎの浜）の保全再生に係わる意見書

西湘海岸域（こゆるぎの浜）の保全再生に係わる意見書

相模湾の中央部に占める西湘海岸域は、町民県民にとり憩いの場であると共に古くから地曳網による漁業が営まれている。昨年9月の台風9号の上陸通過に伴う影響により、西湘海岸域は、波浪風浪の影響で土砂流失や西湘海岸道路（通称西湘バイパス）壁の崩壊流失等が発生し、崩壊した。そこを生活の場としている漁業者及びその他の町民県民に甚大な被害をもたらしたが、その結果、関係機関の迅速なる努力により西湘バイパス等は復旧作業が行われ、旧状に復する見通しがはっきりしてきた。西湘海岸域は、町民県民にとり憩いの場であると共に漁業生産（地曳網漁業）の場であり、また、重要な観光資源であることを充分認識のうえ、道路の保全を始めとして砂浜、渚より沖合い50m以内、海面下水深10mまでのところに大きなガレキ等が沈んでいるため、換装時の網等が破損し、多大な損害が生じますので、安全対策が重要なことと思慮する。よって、神奈川県として西湘バイパスの復旧に併せて西湘海岸域の渚より沖合い50m以内、海面下水深10mの人工建造物等の残骸除去に対して充分配慮のうえ、計画的に撤去作業の開始をされるよう強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月17日

神奈川県知事 松沢成文殿

神奈川県中部大磯町議会議員 百瀬 恵美子

人工建造物の残骸除去の意見書を神奈川県知事に提出をお願いしたい、というもの。

意見で「相模湾が汚く気になっていた」「町民・関係者の意見を代弁しアピールしたい」などがあつた。陳情は採択となり、提出された意見書は、採決の結果、全員賛成で可決した。

編集後記

最近、新聞紙上で「開かれた議会」が特集掲載され、議員個人の議案に対する賛否を明らかにせよと言われっております。

大磯議会だよりは、町民よりご意見を頂いたのを機に、平成16年3月定例会の号より賛否結果を掲載して現在に至ります。

私達編集委員は、町民の声を大事に考え、皆様の意見を議会だよりに反映し、興味を持って一緒に考えて頂ける議会だよりを目指しております。

皆様のきたんの無いご意見を、お待ちしております。

表紙の答

日吉山王大権現（日吉山神社）（国府新宿）

議会だより編集委員

Table listing committee members: 委員長 柴崎 茂, 副委員長 浅輪 いつ子, 委員 高橋 英俊, 竹内 恵美子, 清水 弘子, 土橋 秀雄, 渡辺 順子, 副議長 長 渡辺 順子.

大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議

大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議

大磯駅前東側に大磯駅前マンション計画が進められている。大磯駅周辺は「まちづくり基本計画」に示される通り、近隣住民のみならず、大磯駅を利用するすべての住民の大切なまちづくり拠点と位置づけなければならない。また、周辺には教育施設も多く、園児、児童の通学の安全性を確保しなければならない。まちづくりの優先順位は、町民の生命・財産の安全安心を確保することであると考える。県道大磯停車場線は、急坂で道路幅が狭く、歩道は、人や自転車のすれ違いにおいて危険な状況である。また、町道48号線は、歩道の整備もなく、車のすれ違いが難しい。町所有の石垣は、道路側面に迫り、地震や台風による崩壊の危険が予測される。この機に、大磯町の玄関にふさわしい駅周辺の整備をどう進めるか、町は真剣に取り組むことが迫られている。まずは、大磯駅周辺道路の安全性の根拠を町民に示すべきと考える。少子高齢社会を迎え、人にやさしい、安全安心のまちづくりへの重要性は増している。安全性の根拠を示し、更に、その結果に基づいたまちづくりを町が責任を持って進めることを強く要望する。以上、決議する。

平成20年3月17日

神奈川県中部大磯町議会

坂田議員より、「大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議案」が提出され、採決の結果、賛成多数で可決した。

議員提案による決議

6月定例会のお知らせ

- 6月3日 本会議（議案上程等）
10日 本会議（一般質問）
11日 本会議（一般質問）
13日 本会議（委員長報告等）